

# 手をつなぐ

題字 藤本利夫書

<1988年7月9日創刊>  
 発行2020年2月1日 <毎月1日発行>  
**滋賀県民主教育研究所**  
 〒520-0052 大津市朝日が丘1丁目  
 11-3 教育文化会館2F  
 TEL & FAX 077-525-5364  
 教育110番 077-523-3715  
 eメール shiga\_minken@gmail.com  
 HP: http://shiga-minken.jimdo.jp/  
 振替口座番号(会費振込にご利用ください)  
 ①ゆうちょ銀行/記号番号01070-5-40576  
 ②滋賀銀行本店営業部/普通口座511256  
 加入者(口座)名 滋賀県民主教育研究所

人として最後まで失ってならぬものは何か  
 — 中村哲さん追悼キャンドル・ビジルに参加して —

滋賀県平和委員会代表理事 田中哲

太平洋戦争の開戦前夜の12月7日、京都三条大橋の両側にロウソクを手に黙って立つ120余人のなかに私も立ちました。その3日前アフガニスタンを凶弾に倒れた中村哲さんの命を記念するために日没後集まったキャンドル・ビジルです。参加者は、明かりのついたロウソクと共に手には手書きされた中村さんの言葉をカードに掲げました。「一本の水路は千人の医者にも勝る」「一つの井戸は百の診療所にも勝る」。医者でありながら水を求め、井戸を掘り、川をせき止め水路を作ることと心血を注いだまれに見る人間の姿に心を動かされて集まった人たちです。

中村さんの講演集にはこんなエピソードが紹介されています。中村さんが講演に際して京都の蓮花寺にいられたとき、庭を流れる清流を見て「これは手掘りですね」と問われました。寺人は「よくおわかりですね。この付近に水を通した後です」。その辺りには水争いがありましたね」と問われました。寺人はこの問いに驚きながらも、この付近にあった深刻な水争いのこと、それを治めるために手掘りの水路が作られ、水が流されたことを語りました。中村さんは、その後アフガンのクナール川に用水路を作るために、九州の多くの川を歩き、古文書も調べられました。「『平和の井戸を掘る—アフガニスタンからの報告』」そして、平和とは人々の争いのもとを断っていくこと、人々が共存していける仕組みをつくり出すこと、そのために長い努力をし、さまざまな苦難を乗り越えて実現できるもの、作りだされるものと述べています。

## 《 今月の紙面 》

- ・人として最後まで失ってならぬものは何か / 田中 哲 …P1
- ・「オレの話、聞いてえや！」 / 北河 栄里 …P2, 3
- ・教育のつどい2019 障害児教育分科会～現地、滋賀から発信したいこと / 滋障教事務局…P4, 5
- ・学童保育指導員から見た学校、子どもたちの姿、指導員としての思い / 竹中 真美 …P6, 7
- ・滋賀の教育動向 11・12月 …P8



12月7日中村哲さん追悼 京都三条大橋キャンドル・ビジル

で仕事を  
 を続け  
 てきて  
 得られ  
 たもの  
 をこの  
 ように  
 述べて  
 います。

「人間にとって大切なものは何なのか、大切なものは何なのか、人間が失ってもいいものは何なのか、失ってはならないものは何なのか」。現地で得たものは、こういうことについてのヒントだそうです。(前掲同書より) 中村さんの問かけを、今年一年ご一緒に考えて見ませんか。(たなか さとる)